

〈論 説〉

盆景を「大衆化」することによる 大衆生活の再形成

范 新 玉

要旨：盆景は中国古代の審美文化の中で、審美と実用を兼ねて、国民の生活、自然に対する調和性の追求を伝えている。盆景は装飾の一つとして用いられると同時に、伝統を振り返り、自然への畏敬の念を実物の形で伝えている。本文は芸術人類学の視点から盆景の様々な流派の芸術性を総括した上で、現代社会の都市化の発展によって人々の居住環境が大幅に改善され、盆景への需要も増加している中で、盆景の「大衆化」による変化、及び盆景の現代的意義を探求した。

はじめに

盆景は中国古代の雅客賢人にとって高尚な趣味であり、芸術品の一つとして所蔵している。庶民には手に入らないものであった。時代の変化に伴って、社会全体がますます豊かになった。現代中国では、盆景は流通しているのか、現代人にとってどんな意義があるのかを明らかにしたい。過去の資料を調べる中で、より多くの学者は盆景の文化歴史、植物学、景觀園林学などの方面から論述した。本文は芸術人類学の視点から盆景を見ることによって、中国人の生活に非常に意義があり、人々の精神的追求と審美的な意識の多様性に合っていることを論じたい。

一 盆景は文化伝承との繋がり

盆景の起源については正確な時期はまだ議論があるが、文献による記載や考古学的な証明があり、盆景には確かに長い歴史がある。盆景は古代中国人にとって、余暇の中で重要な役を演じていた。中国古代の雅客賢人は盆景を愛し、盆景を栽培し、その多姿態を鑑賞するとともに、山水田園に対する懐かしさを表現した。歴代の騷人墨客は草花や樹木に対して独特な感情を持っており、凝った言葉、伝神の文字で、山水や花木の精神的な品格と風情の趣を非常に生き生きと概括して、また、多くの盆景芸術を詠んでいる。例えば、宋代の詩人戴復古の《**泚以秋蘭一盆為供**》詩¹であり、また、謝宗可の《**蟠梅**》詩²であり、さらに康熙の《**詠御制盆景榴花**》詩³もある。以上から文人たちにとっては、盆景は特別な存在と愛情を込めていることがわかった。

1 盆景は一つの濃縮的な文化史

一つの盆景史は濃縮された文化史である⁴。異なる歴史時期の発展レベルは、盆景の発展にも影響を与えていた。小さな盆景は、鉢、植物、培土、敷石などの簡単な配置により、独特の形で外部の小さな田園山水画になる。盆景の育成と成型は、長い時間をかけて、育成者が工夫を凝らし、伝統的

1 戴福年編：《戴復古全集》[M] .上海文匯出版社 .2008.p16-17

戴復古**泚以秋蘭一盆為供**：“吾儿来侍側，供我一秋蘭。**蕭然出尘姿，能禁風露寒。移根自岩壑，归我几案間。養之以水石，副之以小山。儼如對益友，朝夕共盤桓。清香可呼吸，薰我老肺肝。**”

2 楊讌，李曉明編：《文淵閣四庫全書 補遺》集部·明代卷·第3卷·北京圖書館出版社 .2005.08. p427

謝宗可《**蟠梅**》：“**紫春絆碧裂蒼苔，岁晏寒香宛轉来；蛟螭冻云冰骨瘦。龙眠夜月玉鱗开。風霜气势从千折，铁石心腸亦九回；只为东君甘自屈，不教枉点百花魁。**”

3 肖凡，劉英俊，夏瑜編：《文人吟咏詩話》[M] . 北京中医古籍出版社 .2008.08. p229

康熙在《**詠御制盆景榴花**》“**小樹枝头一点紅，嫣然六月杂荷風；青叶里珊瑚朵，疑是移銀金碧中。**”

4 李樹華：《中国盆景文化史》[M] .中国林業出版社 .2011

な山水画の共通の美しさを体現している。

一つの国、民族が歩んできた道のりは必ず相当の歴史を残すものであり、中華民族は過去の長い歳月の中で、輝かしい文明と文化を築き上げた。一つの民族の文化は社会発展の各方面に現れており、中華民族は独自の物質文化、精神文化、制度文化を持っている⁵。盆景は物質文化と精神文化が一体になっている。物質文化面では、盆景はその多姿の造型、多様な種類、多層の組み合わせによって、精巧な加工美が現れる。この美しさは私たちが植物自身を理解し、掌握することから来ており、その他の器材の配合と引き立ても必要である。精神文化面では、盆景はまた一般の装飾材料と違っている。中国では、昔から生活の繊細さ、悠然さにこだわり、日常生活に用いるものには、実用的な機能以外にも、できるだけ特定の寓意を与えなければならない。例えば、大きな花瓶を置くことは、装飾的な役割のほかに、語呂合わせで“平安”（瓶瓶安安・平平安安）を意味している。窓の棧にはザクロやブドウなどの果物やコウモリなどの動物が彫られ、“多子多福”（子供と裕福が多い）を意味している。

2 盆景の記号性による持つ意義の違い

私たちがよく知っている花にはそれぞれ花語がある。百合は永遠に仲良く生活すると意味し、梅は「強さ、上品さ、衷心」を意味する。もちろん盆景もその象徴的な意味がある。榕樹は枝が太く、木の冠が広くて、家族の繁栄を象徴する。古人が「落の間に木が多い者は必ず興る」というのはこの理論である⁶。その他に木は大きくて、百厄を防ぐことができ、屋敷を鎮めて邪気を祓う作用がある。ニレの“ニレ”（榆）音が“余”に似ており、“富裕”の意味を表しているので、ニレは常に“富裕”を意味している。また、ニレの葉が古代の銅銭のようにになっているため、金を集めて入れる意味があり、応接間の財位に置くのに適している。長寿のシンボルがあって、財を招き、家族の平安を祈ることができる羅漢松の盆景は古人の観念

5 王惠敏：「口伝芸術与新疆民族文化的传承及保護」[J]. 史林増刊.2009.(S1)

6 屈大均：《広東新語 清代史料筆記叢刊》[M]. 中華書局. 第二十五卷.p616-618

の中で、松は百年期であり、とても長く生きるイメージがある。“千年亀、万年松”があるとあって、更にみんなに愛される。松の盆景は縁起がいいので、居間やベランダ、庭に置くことができ、どんな公共の場所にも置くことができる。これまで文人たちを主体とした消費対象の盆景はさらに深い意味を持つようになった。吉祥図案、風水は中国の伝統文化であり、それらの体現する価値、意義、審美的趣味、美感、芸術風格と構図技巧などは、また確かに中国の伝統と民族の本来の色に富んでおり、中国の民衆に喜ばれ、また終始ある程度で現代芸術の創作と民衆生活の美学の元になることができる⁷。

それぞれの盆景の持つ意義には違いがあり、盆景全体にとっても、一種の共通の精神と趣味を体現している。それは文人たちを含む中産階級が抱く山水と田園に対するあこがれと天人合一の追求である。一つの盆景は一つのミニ版庭園で、もし楼台の庭園、曲径の幽林を持つことができないならば、異なった長年盆景を持ち、小さな同じ庭を持つことによって満足感を得た。この小さい盆景の中で、手当たり次第に遊ぶことができ、心をこめて鑑賞することができる。盆景の中の老木は切り方の技術は職人の努力の結晶であり、人工的に作られた自然を表している。盆景の植物は外部から来て、まだ大部分は生まれつき弱小、捻じれ、多穴などの特性がある。植物自身の姿を尊重し、いい造形にはならないという前提の下で、その残存特性を改造し、特定の状態への転換に視点を利用して、移動可能な美しさを創造した。盆景は資源を費やさ、自然による成型を重視した自然由来のスタイルで、欠けて廃棄されたものを上品な芸術品に変えることができる。この中には植物の特性に対する尊重、自然法則に対する尊重が含まれている。

3 盆景の多くの流派が盆景に地方的な知識を現した

中国では、1981年9月、国家都市建設総局は揚州で「中国盆栽芸術科学研究成果検定会」を開催し、その成果により、揚派盆景は蘇派、嶺南派、

7 周星：「作為民俗芸術遺産的中国伝承吉祥図案」[J].『民族芸術』.2005.第一期

川派と海派と共に中国盆景芸術の五大流派と認定された⁸。各派にはそれぞれ特徴的な作品と技法が継承されている。雄大で、純朴な自然は嶺南盆景の鮮明な特徴である。20世紀初頭から30年代にかけて、嶺南盆景の三傑(孔泰初、素仁、莫府):孔泰初を代表とする第一代嶺南盆景職人は、第一代嶺南盆景職人は、過去の伝統的な“蟠扎”(パンザ)を主とする技法の盆景作りを変革するため、長年ライチ樹の回旋曲節、盤根錯節の樹姿、「大樹影」を手本とし、蓄枝切干の新技法を開拓し、全過程は剪定を主とし、“蟠扎”(パンザ)を少なくした。蓄枝切干を用いて作った盆景は、よく剪定をしても鋏の切り跡を見せず、自然を師法し、枝の技粋を際立たせ、整形あるいは構図の配置は自然より高く、自然美と人工美の有機的な結合に力を入れ、各種の造型はまるで天成のように、奇抜で天工を奪うため、嶺南盆景は“生きている中国画”⁹と呼ばれている。

蘇州は中国盆景の起源が早く、発展が速い地区の一つである。蘇州の盆景は数百年の歴史を蓄積し、呉文化の薫陶を経て、近代蘇州の盆景は鮮明なスタイルの特徴を形成している。素材は基本的に樹齢数十年から百年古木で作られ、“縮竜成寸”の芸術の手法で鉢の中で栽培し、蒼古的な趣きさと上品さを失わない。盆景の作り方は伝統的な「六台三托一頂」と呼ばれるものが形成され、操作方法は幹を六つに曲げ、それぞれの曲げられた部分に一側枝を残し、左右、背の三つ方向に各三枝をつき、九つ円形の枝を作り、左右対称の六枚が「六台」になり、背の三枚が「三托」となる。それから木のでっぺんに一つの大きな枝片、つまり「一つの頂」を結っており、違いが面白くて、階層がはっきりしている。「すべてが美しい」という二つ鉢が対称的に配置されている¹⁰。蘇州の盆景は建国後から急速に発展し、規模の大きな盆景展示会が開かれ、盆景園を建てるなどが行われていた。現代蘇州の盆景の発展にはもう一人重要な人物朱子安である。従

8 揚派盆景 古今談 https://www.sohu.com/a/333727334_283714 アクセス日: 2020/3/23

9 羅列:「嶺南樹木盆景審美面觀」[J]『第一屆嶺南盆景學術研討會論文專刊 廣西園林』1993 (2)

10 邵忠:《中国蘇派盆景》[M]. 上海科学技術出版社. 2005. p10-13

来の取材方法を変え、奥山に行って巨大な古木を伐採し、盆景のブランクとして、「二曲半」の枝片に処理手法を採用し、盆景成形の年限を短縮した。独特な、明らかな現代蘇州盆景の特徴を形成した。

揚州の経済文化と地理環境の影響を受けて、揚州の盆景は揚州庭園と同じように、北方の雄大建築の特徴もあれば、南方の美しい特徴もあり、これも揚州盆景芸術の特徴を形成した原因である。揚派の盆景制度のポイント：揚州、泰州一帯は西派と呼ばれ、「遊龍曲」を主な標章とし、南通から一帯は東派（現在は通派とも呼ばれ、一部の盆景に関する論文では単独派とされているが、伝統によって分けられ、揚派に属している）と呼ばれ、「二曲半」（あるいは「三曲半」）を主な特色とする¹¹。「両曲半」は「獅式」の盆景とも呼ばれ、明の時代の画家が創作したと伝えられている。造形には極めて厳格な要求があり、「三曲九片一頂」（三曲半）を構成しなければならず、獅子のような姿をしている。しかし、「三曲半」の造形は難易度が非常に高く、標準に達するのは容易ではなく、その後次第に「両曲半」に簡略化されていった。歴史の発展に伴い、現代においての揚派盆景芸術は多元化の発展傾向を呈している。

川派は中国の盆景芸術の系譜の中で重要な位置を占めている。四川の盆景は大体川西と川東二種類の芸術スタイルに分けることができ、それぞれ成都と重慶を中心とし、その中でも成都を代表とするものは「樹木盆景」だが、四川盆景の特徴を最も体現できると考えられている。成都の「樹木盆景」は情緒を重んじ、多彩な植物材料で使い、他の流派に比べると植物材料の多彩さで勝っており、清雅秀麗で、芸術風格は極めて独特である。川派盆景は「剣南盆景」とも呼ばれる。川派の規則式の盆景はその伝統的な“蟠扎”（パンザ）によって造形され、一定の格律があり、その種類は非常に多く、列挙にいとまがない。それらの主幹と側枝は芽から褐色の糸で異なったフォーマットで各角度、各方向の曲げを作り、立体空間の構図を重視し、難度が高い。「幹形」の形式は大きく分けて「龍抱柱」、「対角」、

11章金笙編：《中国揚派盆景》[M] . 上海科学技術出版社. 2004. p8-10

「方曲がり」、「落曲」、「三曲九逆」、「大曲垂枝」、「直身戴冠」、「接曲落」、「老婦櫛粧」及び「総合法」など（“遊龍抱柱”、“対拐”、“方拐”、“掉拐”、“三弯九倒拐”、“大弯垂枝”、“直身加冕”、“接弯掉拐”、“老婦櫛粧”、“総合法”）十通りある¹²。四川民間では「鉢植えの木は根を挿すような根がない」（盆樹无根如插木）ということわざがあるため、その木は特に根の処理を強調し、鉢植えの木は多く根を懸けて「根」（爪）を露出し、盤根錯節の造形に注目された。自然式の盆景は竹を素材とし、石と相性がよく、趣がある。全体的に川流盆景の芸術スタイルは、切り株が古風で緻密で、蛇行が多いことを特色している。山水盆景は氣勢が雄大で、高く、険しく、深く、巴山蜀水の自然を典型的に表している。

四大流派とは少し違う海派は、上海の特殊な地理と国内外の貿易における重要な立場によって、革新し、新鮮な事物を吸収することに優れた海派文化を形成しつつある。上海盆景は国内の各主要な流派の長所を広く取り入れ、また日本と海外盆景の造型と技法を参考にして、自然と蒼古的な海派盆景を創立した¹³。海派盆景は選定した樹種が非常に豊富で、落葉、常緑、花果など様々な種類があり、現在140種類以上に達している。その中に常緑の松、柏と美しい花果類を主とし、ここ数年国外（例えば日本、ポルトガルなど）からいくつかの樹種を導入したため、さらに多彩になった。

4 各盆景流派の相違点

流派は地域資源、地域文化の産物としてまとめることができるが、地域によっては盆景の職人が独特の創作スタイルを作り流派の特色を生むこともある¹⁴。各芸術家はいずれも一つの民族のメンバーであり、長期にわたって、その民族の歴史文化の伝統教育と薫陶を受け、民族特有の考え方と審美的理想を運用して創作を行うことに慣れ、作品に相応の民族性格と民族精神を表現させている。そのほか、一部の民族芸術も盆景風格の発展に一

12張重民：《中国川派盆景》[M]．上海科学技術出版社．2005．p10-14

13沈明芳：《中国川派盆景》[M]．上海科学技術出版社．2007．p8

14劉悦笛：「以“生活美学”確立芸術流派和學派的新路」[N]『中国文化報』2019. 7月17日. 第003版

定的な促進作用があり、例えば、中国伝統的な書画、詩詞、園林、彫刻、根芸、陶器などの芸術はすべて盆景と無数の関連がある¹⁵。

時代の流れとともに伝統工芸を基礎とし、現代の美的センスに基づいて盆景芸術を改造することによって、人々の生活の中により流行しており、またこれらの伝統流派のほかに、徽派、中州派、重慶派、さらには北京派などが勢いよく台頭している流派もある。庶民の日常生活に盆景が入るにつれ、様々な流派が大衆の審美に迎合するとともに、他の流派の良さを積極的に取り入れるという意味で、流派融合は避けられない流れといえるだろう。盆景の流派の多さは、盆景芸術の活力と繁栄を十分に示している。各流派は成長する植物を主体とし、一連の流転秩序にある栽培プロセスを形成した。この工芸は鮮明な地域知識と現地の審美性を持っている。これらの多くの流派が重なり合って、盆景に多元的な審美形態を呈させており、民間の知恵と地域の特色を十分に吸収し、得がたい審美知識となっている。

二 盆景の機能的な審美は文化を目覚めさせる作用がある

盆景は無声の詩であり、立体の絵であり、多彩な風景である。盆景はその独特な造形のため、大衆に好まれるだけではなく、重要なことは盆景自身が中国文化の要素を持っていることである。盆景の美はまず外形にあるが、もっと高級な美はそれが持っている中国の独特な文化情報だ。どんな流派の盆景でも、一つの空間内に特定テーマの美を見せるもので、このような所定空間は通常、一つの鉢、一本の木、一つの山石しかない。この限られた空間、単一の配置の中で、一種の人工と自然の再建の美を現して、天人合一の思想と慎重な審美の気持ちを表現している。一つの盆景（特に小型盆景）は自然に対して全面的に要求する必要がないことをより明らかにしており、庭園を建設して自然の趣を得る必要もない。盆景を通して自

15章金笙：「中国盆景の歴史、流派及其芸術欣賞意境」[J]『北京林業大学学报』2001.第五期

然とのコミュニケーションや会話ができる。

過去、人々の知識が未熟だったころは、文化を伝達するためのソフト面もハード面も備わっておらず、中国伝統文化の広まりは容易ではなかった。中国伝統文化は理性的な文化であり、科学が発達すればするほど、人々の文化水準が向上し、認識能力が強化されればされるほど、中国伝統文化の伝承に有利である。盆景芸術は記号として創造される。純粋な模倣ではなく、いかなる模倣も創造を含んでおり、感情のはけ口ではなく、現実と生命の形に基づいて創造された。芸術は科学とは異なり、美は真であるが、すべての真は美であるとは限らない。最高の美を達成するためには、自然を複写するだけでなく、自然から逸脱しなければならない。これは模倣説を越えたものであり、すなわち芸術には構成 (formative) 能力があり、本物を真似するのではなく、発見するものである。文化は伝承性があり、盆景は文化のイメージ担体の一つである。盆景は器物と文化の間にインタラクション性を構築し、歴史、民族知識を支える効果的な文化伝達手段であった。

三 盆景は民衆生活の中で急速に発展する

市場経済の建立と同時に、インターネット購入は急速な発展の恩恵を受けて、盆景はすでに少数の専門プレーヤーが推薦する高価な商品から徐々に普通の家庭に入り、日常の消費品になりつつある。盆景は人々の生活に入って、環境を美化し、生活を飾ることができる。盆景は1000世帯に入り、ある程度盆景を栽培の花見をする雰囲気になっている。

1 民衆の生活水準の向上は盆景の発展にきっかけを提供した

中国の都市化はある程度大幅に向上し、農村生活も大きく変化した。人々の生活水準の向上、居住環境の変化によって、人々は家の装飾に大きな需要を持っている。盆景の容装機能、緑化機能、文化機能と一体化は、人々

の多段階の需要を満たすことができる。社会の大量需要の中で、盆景産業に大きな発展をもたらした。新聞の調査結果によると¹⁶、他の花木類と比べ、盆景の経済効果は比較的高い。ここ数年来中国の盆景産業の全体的な発展傾向：栽培規模は波動の勢いを呈し、売上は全体的に上昇し、輸出は増加が明らかである。不完全な統計ではあるが、2017年の全国の盆景生産面積は19365.28ヘクタールである。販売額は20億8600万元。売上高は前年比17.3%増の67億7700万元。輸出額は4609.3万ドルで、前年比10.9%増加した。一連のデータから、盆景に対する民衆の需要が年々増加していることが示された。全国各地に多くの専門的な盆景の販売市場が現れ、またいくつかの専門的な盆景園が建設され、多数の盆景展が開催され、さまざまな性質の盆景協会も創立されており、これらは盆景産業の発展を証明している。民衆の生活水準の向上は、彼らを単なる生活消費から更に質の高い生活消費へと推し進め、盆景の普及にきっかけを作った。

2 インターネットの発展は盆景の普及を促進した

ネットは販売の“神器”であり、それは生産と販売の結合を実現し、多くの物流の卸業者を省き、販売者と消費者の間の情報に結合を保証し、盆景の販売を促進した。インターネット上では、たくさんの販売関係が存在するため、消費者は多くの業者の異なる商品を簡単に探すことができ、つねに自分の欲しい商品を見つけることができる。

数年前、一部の人はインターネットのプラットフォーム（花木ネット、淘宝）でオンライン販売をしていたが、ネットショップではよく見られるインターネット販売だということが分かった。現在、多くの若い盆景職人がネット上で生中継を通じて盆景を伝統的な販売方式からオンラインでリアルタイムに販売が始まった。盆景作りは動画の前で生放送され、生放送中にネットユーザーとやり取りしながら、盆景作りの方法や手入れ事項など盆景に関する知識を解説している。軽い会話の中で盆景を消費者に売り

¹⁶盆景産品要満足消費者の多元需求 https://m.sohu.com/a/299752389_120044303
アクセス日：2020/02/01

込むようなものだ。生放送の時間は人によってそれぞれだが、よい時には一日10鉢ほど売れ、1万元近くの収入になる。消費者はインターネットを通じて自分の望む盆景を常に見つけ、家に引き込むことができる。ネット上では、伝統的な市場と専門的な市場の限界を突破し、売り手は各地に散らばっている盆景市場、同時にネットの中に集めた。ネットが検索機能を持つため、各流派の盆景はすべてネット上に掲載し、消費者が容易に検索することができる。売り手と買い手の間で直接やり取りをして、流通リンクを削減し、盆景の消費を促進した。

四 盆景による大衆生活の立て直し

盆景は日常生活用品であり、芸術品でもある。盆景で遊ぶことで、人々は盆景で伝えられる「天人合一」と「自然調和」の美を味わうことができる。ここ数十年、人々が食糧難時代から現在の豊かな社会に至るまで、どのような生活の質を求めていたのかは分からない。養生生活、詩詞大会、儒学復興などの活動は伝統文化と現代審美の完璧な結合を促進し、伝統遺伝子を豊富に含むため、現代生活の審美を創造することができ、これらは中国の夢と東方主義の生活様式にふさわしいと言える。

1 盆景は実用主義の美学の装飾作用がある

物が非常に豊富な時代の中で、各種の物は生活に便利さを創造し、生活の質を高めた。住宅価格は長い間注目されている問題であり、住宅価格が連続的に上昇するのも常識であるが、不動産は依然として新型都市化、都市化の発展を大きく推進した。農村の住宅環境も改善され、都市住民の一人当たりの住宅面積は増加しており、居住状況がいずれも優化していることが明らかになった。したがって、草花にも旺盛な需要が見込まれる。それぞれの草花が千家万家に入ったとき、盆景もこの“急行列車”に乗って、かつて文人だけに属していたものを一般大衆の家庭の飾りになった。庭に

盆景を置くと、まるで園林という感じになる。室内に置くことで、環境を美しくし、空気を浄化し、気分をよくすることができる。大きさによって、大型盆景、小型盆景があり、材質から高木盆景、低木盆景と草本盆景があり、生長時間によって“高齢”盆景と“若者”盆景に分けることができる。これらの様々な美しい盆景は濃縮された山水園林であり、人々の生活を装うと同時に、詩的な生活を作っている。

2 盆景は自然に対する人の敬意が宿っている

盆景はただ鉢に植えられた植物ではなく、育成者特定の意志が凝らされている。盆景の類型は多様であるが、それぞれの状況に応じた利益の育成理念を表現している。それぞれの木を剪定して特定の鉢に入れ、鉢と一体化させ、一宅や一室に緑の山と水を結集させたいという意思を示している。自然を愛し、名山大川を期待するのは中国人DNAの中での伝統遺伝子で、このような美的志向は現代で更に強烈している。都市化の過程の中で、名山大川、野外自然は更に一種の貴重な希少性資源で、私たちからますます遠ざかっている。それでも自然への憧れは薄れず、遠ざかっていく大自然をどのように日常生活に運び込むか、盆景を選択する以外にない。盆景はその誕生から、山水を模倣し、景観を濃縮する機能のプリセットを積載しており、本質は自然を尊重し、あこがれる心である。

3 盆景は人の自我への束縛を呼びかける

盆景は縮小版の山水園林であり、自然から採取した植物を切り取り、自然界のさまざまな形を形成している。強烈な人工干渉が盆景独特の気質を作り出している¹⁷。拘束の美しさ、形の美しさへの人々の愛着が込められている。盆景は自己拘束の長期性と一貫性をイメージしている。心を鍛えるにしても、仕事をするにしても、長期的な堅持と訓練をしなければならない。このようにしてこそ、正道に達し、全体的な安定した人格特徴を形成することができる。規則や目標を持たずに好き勝手に行動すれば、ルー

17周星編：《中国芸術人類学基礎読本》[M] 菅豊：「中国的根芸創造運動—生成資源之“美”の本質与建築」学苑出版社.p504-525

ズな性格が身につく、粘り強い品性の達成から遠ざかることになる。盆景は精神の寄託でもあり、行為の指針でもあり、日々遊ぶことは日々注意であり、人々に制約を守らせ、良い習慣を身につけさせ、自己を完全なものにするよう警告している。盆景も成熟した記号であり、剪定し、接ぎ木し、突き、さらに時間をかけて磨けば理想的な形になる。人生はこのようにでもある。人生の経験を重ねるにつれて、人にとって非常に快いものを取り除き、不快なことが自分にもたらす力を追求し、ちょうど逆境に対する経験が絶えずより高い成績に向かうようになるだろう。

おわりに

盆景は中国古代の審美文化の中で、審美と実用を兼ねて、生活、自然に対する調和性の追求を伝えている。伝統芸術の一つである盆景は、生活の中で自然に伝承される形になる。盆景は一段階で衰退していったが、時々消滅した何かが人を驚かせ、再びその魅力に注目させる。現在都市化の発展が加速しているため、様々なことを結合している、特に現代人の居住環境は大幅に改善され、盆景への需要も増加している。例えば、本文の一部として論じた伝統的流派学説は、知らずのうちに統合され、各流派が長短相補って学び合い、ある学者が「中国派」¹⁸と称している。流派を問わず、時代の流れとともに伝統工芸を基礎とし、現代の美的センスに基づいて盆景芸術を改造することによって、盆景の魅力の一つである。これは国民に対して盆景を受け入れやすいと思われる。時代とともに盆景も歩みを追っており、盆景に対して、その本来の意味、すなわち植物としての意味を理解するだけでなく、現代社会の状況の中で新たな意味を持つものとして理解してみてはいかがだろうか。そのため、盆景は伝承され、演出されてきたものわけだ。盆景の種々を通じて、国民の審美の多様性がうかがえる

18劉悦笛：「以“生活美学”確立芸術流派和學派的新路」[N]『中國文化報』
2019年7月17日・第003版

し、盆景は装飾の一つとして用いられると同時に、伝統を振り返り、自然への畏敬の念を実物の形で伝えている。

※ 本文は若手研究者育成プログラムで助成した。

参考文献：

- 屈大均：《広東新語 清代史料筆記丛刊》[M]. 中華書局. 第二十五卷. 1985
- 章金笙：「中国盆景の歴史、流派及其芸術欣賞意境」[J]. 『北京林業大学学报』. 2001. 第五期
- 章金笙編：《中国揚派盆景》[M]. 上海科学技術出版社. 2004
- 楊讷，李晓明編：《文淵閣四庫全書補遺》集部. 明代卷. 第3卷. 北京図書館出版社. 2005
- 李樹華：《中国盆景文化史》[M]. 中国林業出版社. 2005
- 邵忠：《中国蘇派盆景》[M]. 上海科学技術出版社. 2005
- 張重民：《中国川派盆景》[M]. 上海科学技術出版社. 2005
- 沈明芳：《中国川派盆景》[M]. 上海科学技術出版社. 2007
- 戴福年編：《戴復古全集》[M]. 上海文汇出版社. 2008
- 肖凡，劉英俊，夏瑜編：《文人吟咏詩話》[M]. 北京中医古籍出版社. 2008
- 周星編：《中国芸術人類学基礎読本》[M]. 菅豊：「中国的根芸創造運動—生成資源之“美”の本質と建築」学苑出版社. 2011
- 羅列：「嶺南樹木盆景審美面面觀」[J]. 『第一屆嶺南盆景學術研討会論文專刊 广西園林』. 1993 (2)
- 韦金笙：「中国盆景的历史、流派及其芸術欣賞意境」[J]. 『北京林业大学学报』. 2001. 第五期
- 周星：「作為民俗芸術遺產的中国伝承吉祥図案」[J]. 『民族芸術』. 2005. 第一期
- 王惠敏：「口伝芸術与新疆民族文化的伝承及保護」[J]. 『史林増刊』. 2009
- 劉悅笛：「以“生活美学”確立芸術流派和学派的新路」[N] 『中国文化報』. 2019. 7月17日第003版
- 盆景産品要満足消費者的多元需求 https://m.sohu.com/a/299752389_120044303 アクセス日：2020/02/01
- 揚派盆景 古今談 https://www.sohu.com/a/333727334_283714 アクセス日：2020/3/23